

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度尾原ダム弾力的運用管理他検討業務
業 務 概 要	<p>本業務は、斐伊川水系尾原ダムにおいて気象予測等を活用して、貯水池の有効活用を図るため、洪水後期放流として洪水調節容量内に貯めた水を洪水後に放流する際に、更なる水力発電を可能とするハイブリッドダムとして水位運用高度化運用操作を検討するものである。</p> <p>1. 計画準備 1式 2. 資料収集整理 1式 3. 水位運用高度化運用操作の検討 1式 4. 水位運用高度化操作試行要領等の作成 1式 5. 事前放流効果手法の検討 1式 6. 報告書作成 1式</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局 出雲河川事務所長 児子 真也 出雲市塩冶有原町5-1
契 約 年 月 日	令和 7年 9月 3日
契 約 業 者 名	八千代エンジニアリング(株)
契 約 業 者 の 住 所	広島県広島市東区光町1-13-20
契 約 金 額	19,987,000円(税込み)
予 定 価 格	19,987,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり。
業 務 場 所	島根県雲南市木次町平田地先
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7年 9月 4日
履 行 期 間 (至)	令和 8年 2月27日
備 考	

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： 八千代エンジニアリング株式会社

業務の名称： 令和7年度尾原ダム弾力的運用管理他検討業務

契約理由： 本業務は、斐伊川水系尾原ダムにおいて気象予測等を活用して、貯水池の有効活用を図るため、洪水後期放流として洪水調節容量内に貯めた水を洪水後に放流する際に、更なる水力発電を可能とするハイブリッドダムとして水位運用高度化運用操作を検討するものである。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。